

Campus Today



松本歯科大学
発行所 学校法人 松本歯科大学
長野県塩尻市広丘郷原1780
☎ (0263) 52-3100
www.mdu.ac.jp
1部60円

明けましておめでとーございます

新年を迎えるにあたり、創立者・矢ヶ崎康博士が掲げた「建学の理念」に想いを馳せ、近代民主主義の本源の価値観を認識し、教育に欠くべからざる「愛」の精神を忘れることなく、共に未来に向かって歩んでまいりましょう。1979年に学生が発行した季刊誌『NOW』には、創立者が「建学の理念」に込めた遠大な理想が綴られています。ここに全文を紹介し、新年のご挨拶といたします。

建学の理念について私に何か書けと云い、そしてクラブ・ナウの彼はその手に書籍『福沢論吉』を所持していた。と云うことになるのは、本学の建学の理念に謳われている象山と論吉を中心としてその全体を知りたいと思ったのである。が、本学の建学の理念は、従来の多くの学校に見られるような謂わば象徴的形式的なものではなく、実践のための基本的魂であり生きていく教育思想であるので、これを具体的に説明することになる。と云う一冊の書になった。よって限られた紙数の中でその片鱗に少しばかり触れてみる以外に仕方なからうと思ふ。

本学の建学の理念の中に象山と論吉を入れたのは、このお二人ともが日本の夜明けの傑出した指導者であり、日本の近代化と民主主義及びその準備がこのお二人から生れたと云つても過言ではないからである。まして象山は長野県松代藩出身の学者であつてみれば私にとって尚更尊敬の対象とならざるを得なかったのである。

象山は明治元年の四年前、即ち1864年に京都で不遇の暗殺死を遂げた。彼は勤皇派の開国論者であつたが、日本の近代化に必ずしも尊皇至上主義を唱えず、また幕府（一橋慶喜）などにも要請されてしばしば講義（開国論や公武合論など）を行つてゐた。そのために尊皇攘夷派ににらまれる結果になり遂に非業の死を遂げるに至つた。彼の思想は単に儒教（東洋道徳）にのみ偏せず、広く西洋の思想や技術をもとり入れ、氣宇壮大な別格の愛国の士であつた。要するに彼は、日本の夜明けを民主主義の方向で積極的に考えていたに違いない。その点で彼は、幕末日本の幾多の巨星のなかで最も偉大な星の一つであつたと私は考えているのである。決して同郷長野県出身と云う身びいきからのみ考えて本学の建学の理念に挿入したのではない。彼の著名な弟子の中には、勝海舟、吉田松陰、坂本竜馬などがある。彼の学派は朱子学であつたが、佐藤一斎を師とした関係から

建学の理念

佐久間象山 福沢諭吉両先生の学訓に従ひ
国手的な精神に立脚し

教育と研究の有機的結合を強固にして大学の本質を常に究め

近代民主主義の本源の価値観と世界観を確立し

人間の尊厳を認識せしめつつ民主主義的人格を陶冶し

深遠な真理を追求しつつ科学思想昂揚の完璧を期するにある

過去より未来を通じての現代の世界史的位置を認識せしめ

偉大な人類の業績を讃えると共に

未来への方法と科学的展望を確立せしめる

教学一致の不断の研鑽と遠大な理想に基づき

輝ける高雅な環境の醸成につとめ

自治の尊厳を守り

芸術を尊び高度の情操を育成せしめる

創立者

矢ヶ崎 康



て自由と民主主義の巨星でもあつた。彼は単に慶応義塾の論吉ではなく、日本の論吉であり、世界の論吉でもある。彼は下級藩士を父に持ち、ためにその封建的圧制と矛盾を身をもって体験し、長ずるに従ひ蘭学のために長崎に赴き、後「適塾」に於て緒方洪庵の教えを受け猛烈に学んだ。司馬遼太郎の『花神』を読めばその猛烈且つ愉快な学生生活がよく分る筈である。

彼は医学を学び、哲学、文学、教育、政治を学びそして自ら教授した。数多くの書物を著したが、その主たるものは「学問のすゝめ、文明論の概略、学問の独立、西洋事情、日本婦人論、女大学

う特殊の混沌から生れたものであり、彼の思想のすべてを代表するものでないことは言を俟たない。しかし民主化された戦後の日本に於て、今なお明治初期の論吉が教えてくれた苦の学問と教育の深い思想が定着せず、そして本当の意味の民主主義と自由が教育活動の中にもたらされずに低迷しているのはどう云う訳であろうか。誠実さと真心と、創造性と人間性、そして何よりも教育に欠くべからざる「愛」の精神と勇気が、誤つた封建的既成概念の中に埋没されてしまつていからには可なりだろ。

だからこそ私はこれらの誤りを一時も早く克服し、より優れた民主主義的近代は文盲ではあつたが、逆に誤つた既成概念が固着していなかったで新しい文化や論理の注入には比較的素直な姿勢で対応できたのであつた。ところが現在の状態は全くそれと異つてゐる。国際的に云つて現時点は新しい時代を積極的に準備する「資本の全般的危機」の最高度に激化している時期であり、激動など云う言葉ではとても表現し得ないほどの大変な総括矛盾を孕んでいる転換期の時代である。ましてわが国の場合、文明開化以来「身を立てて名を挙げやよめよ」「末は博士か大臣か」などと云つて学問の将に身を出世の玄関口であるかのように思い

困難である。まして自ら必要と考え、自ら行動し、自ら勝ち取つた民主主義ではなく、与えられた民主主義であつてみれば尚更である。このことで最も被害を蒙つてゐるのは教師でなければ親でもなく、当の子供たちだけであらう。教育と云ふものは未来への創造と愛のためにのみ存在する。決して他人に優越するための道具ではないのである。この簡単明瞭な真理がどうしても分らないのが日本教育の現実なのである。むしろこのことは教師やジャーナリズムが最も分つていないのである。

こんな悲観の状態だからこそ私はどうしても新しい思想に裏づけられた大学を必要としたし、その文章は拙劣ではあるが現在のようない実践の理念を教育思想の土台として掲げたのである。その内容については（日本人の現実から考えると比較的進んだものではあるが）私個人としては随分がまんしているのである。現実の世界史はこの理念より遙かに進化しているからである。「近代民主主義の本源の価値観」だとか、「人間の尊厳」だとか云うことは至極当然の事柄であり、ヨーロッパでは既にルネッサンス期に於て醸成されてはいた思想である。イギリス、アメリカ、フランスなどの革命はこのルネッサンス思想の総括であつた。とりわけアメリカの独立宣言（1776年）やフランスの人権宣言（1789年）などは端的にこのことを諸君に教えている筈のものである。このように世界史的観点からすると、日本では進んでいると思われている本学の建学の理念も、随分当り前の古典的なものになつてしまつてゐる。先進諸国の人民から見ると極く平凡な普通の事柄に過ぎないのである。

それではなぜこれより進んだとして世界史的位置に忠実な理念になつたのかと云う当然の疑問が湧いて来よう。そのことは諸君といへども分る筈である。そんなことをしたらそれこそ日本人の一部からあらぬ非難を受けるのが関の山であるからである。2月11日が建国記念日であつたり、元号法制化で騒いでみたり、且つての教育勅語を教育の基本にしようと思ふたりするよう人々が未だ多く存

編纂余談
『建学の理念』それは、我が松本歯科大学を語る上で、必要不可欠なものです。大学創立以来約8年、我々学生は、ここに掲げられた遠大な理想を、時として忘れてはいないだろうか。我々、創立初期の学生はこの言葉の意味をしっかりと把握し、次代の後輩へ、後世へ伝える義務があるのです。

何も難しい哲学書を無理に読む必要はない。しかしこの『建学の理念』だけは、しっかりと胸に刻んでおくべきではないだろうか……。（6期生 康祐國）

学生諸君はこの「建学の精神」を常に胸に抱きつつ、
おいに学び、国手的な精神を発揮して国民の健康・生活を支える担い手になつてほしいと思ひます。職員や卒業生をはじめ、松本歯科大学を愛するすべての人々のご協力を賜りながら、本学がいつその発展を続け、すばらしい年となりますよう、祈念いたします。

理事長 矢ヶ崎 雅

2018年を振り返って



本学主催による「新緑のチャイコフスキー」コンサート（4/30）
まつもと市民芸術館において、西本智実さん指揮イルミナートフィルハーモニーオーケストラによるコンサートを開催。学生、職員、一般客ら約 1500 人が一流の演奏に酔いしれた。



観桜会でエイサー集団アルプスが演舞（4/29）
第 5 学年の仲座海希君を中心にした学生有志によるエイサー集団アルプスが観桜会で演舞を披露、来賓から拍手喝采を浴びた。



第33回大学祭「松濤祭」 八重桜のキャンパスでイベント満喫
観桜会と同時開催した松濤祭では、京都・宮川町から招いた芸妓の君綾さんが琴の調べに合わせて、京踊りを披露した。



入学式で学生有志がオープニングセレモニー（4/5）
2018 年度入学式で学生有志が校歌合唱やバントワリングなどを披露し、新入生を歓迎した。



大学病院に皮膚科開設（7/30）
皮膚科学の林 宏一教授が診療を担当し、レーザー治療や医療脱毛・レーザーフェイシャルなどの美容皮膚科治療にも取り組む。



学生が制作したイラストが公式キャラクターに
第 5 学年の小林 彩さんが考案・制作した骨に関するイメージイラストが好評で、本学公式キャラクターとして商標登録出願した。



第 1 学年生が小・中学校で歯科保健指導（11/8）
第 1 学年生が授業「入門歯科医学実習」の一環として塩尻市の広丘小学校を訪れ、小学 6 年生と交流し、歯科保健指導を行った。

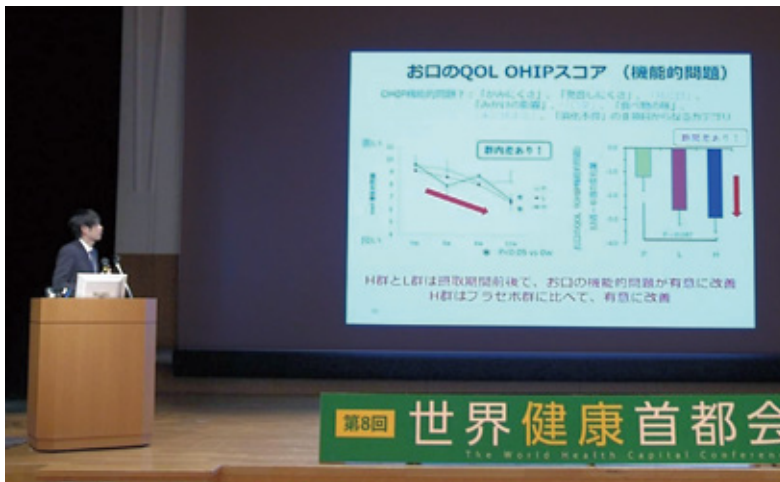


第50回歯学体 硬式野球部、水泳部が準優勝（7/30～8/10）
第 50 回全日本歯科学学生総合体育大会夏期大会が 7 月 30 日から 8 月 10 日にかけて開催され、水泳部は主管校として大会を運営しながら奮闘し、男女総合準優勝を果たした。また、硬式野球部も主将を中心にチーム一丸となり準優勝の成績を収めた。



スポーツの秋を満喫 第29回体育祭（10/20）
第 29 回体育祭が本学陸上競技場で開催され、歯学部生や衛生学院生、教員など約 150 人が参加、熱戦を繰り広げた。

世界健康 首都会議 口腔細菌学講座・吉田明弘教授 乳由来食品素材を用いた実証報告



研究成果を発表する吉田教授

11月8日(木)・9日(金)、第8回世界健康首都会議が松本市中央公民館(Mウイング)で開催され、口腔細菌学講座・吉田明弘教授は、「お口の健康の実証研究結果―乳由来素材を使った新たなアプローチ―」と題して、研究成果を発表した。

世界健康首都会議は、松本市が進める「健康寿命延伸都市・松本」の創造を目指して、産学官が連携し、健康関連産業が支える街づくりを考え、世界に向けての情報発信を目的としている。

吉田教授は、乳製品メーカーと松本市との産学官連携事業として、松本市の企業従業員および松本ヘルス・ラボ(企業が進める医療・介護・健康分野の新産業創出に協力する組織)会員150人を対象にオーラルケア食品をモニターしてもらった結果を報告した。

新教授紹介

(2018年12月1日付就任)



病院総合口腔診療部門

教授 安西 正明

このたび病院総合口腔診療部門教授に就任させていただくことになりました。学内および校友の皆様は本紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

本学を卒業後直ちに歯科保存学第2講座(保存修復学、歯内療法学)に入局致しました。故

安田英一先生、学生時代からの憧れで人生の道標となっている等原悦男先生のご指導の下、学生教育を第一に、臨床・研究に研鑽を積んで参りました。この礎が大学人として、歯科医師としての私の根幹となっております。

本年3月歯科保存学講座(保存修復学)より病院総合口腔診療部門に異動となり、主に第5学年の臨床実習、卒業後研修歯科医の指導、並びにチーム医療に携わって参りました。

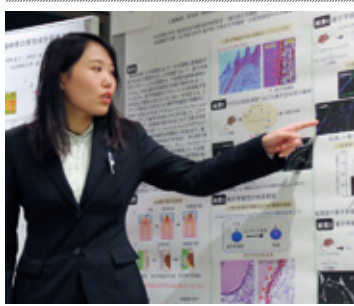
所属するチームの指導的立場の一人として若手の歯科医療向上のため、一口腔単位での治療を通して患者の健康増進のため、さらに大学病院全体の質の向上発展の一助となるよう誠心誠意努力する覚悟でございます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

病院連携型口腔診療部門

教授 八上 公利



このたび病院連携型口腔診療部門の教授を拝命いたしましたので、ご挨拶申し上げます。私はこれまで口腔外科領域を主として、臨床、教育、研究を行ってまいりました。その間、本学をはじめ、多数の大学や病院の諸先生方に多大な教をいただき、人体において摂食、社会的コミュニケーションを担う口腔や顔面という重要な部分の疾病の治療や研究に加担できることの喜びを実感し、今日まで歩んでくることができました。



優秀発表賞に選ばれた趙院生のポスター発表

歯学部生・衛生学院生もポスター掲示を見学 第87回松本歯科大学学会を学生ラウンジで開催

11月15日(木)、第87回松本歯科大学学会(例会)を本館1階の学生ラウンジで開催した。昨年と同様に開催日を木曜日の夕方とし、一般演題のみをすべてポスター発表で行った。基礎研究、臨床研究および症例報告

あわせて10演題の申し込みがあった。ポスター掲示は前日の夕方から当日朝までに行い、職員や大学院生だけでなく、多くの歯学部生・衛生学院生もポスターを見学しており、本学でどのような研究が行われているのかを知っていたら大変良い機会になったものと思われる。

午後5時30分からは、臨床系と基礎系の2ブロックに分かれて各演者からの発表が行われた。昨年の例会より演題数が少なかつたため、1演題の発表時間を5分、討論を3分と設定した。従来よりも討論時間を多くとつ

たこともあり大変活発な討論が行われた。記名された参加者も75人とこれまでの学会に比べて多かった。

今回の優秀発表賞には、大学院第3学年硬組織発生・再生工学ユニットの趙麗娟院生が発表した、「象牙芽細胞の枯渇は修復象牙質を誘導する」が選ばれ、高橋直之大学院歯学独立研究科長から表彰状と副賞が授与された。

土曜日に例会を開催していたことに比べて、演題数や学会参加者も多かったことから、次年度の松本歯科大学学会については、総会の開催曜日を月曜日に、今回の例会と同様に木曜日に開催を検討する予定です。詳細が決まりましたら、学内イントラでご案内いたします。

(松本歯科大学学会幹事長 溝谷 徹)

一つの事だけに集中するためには思考をいったんすべて止めることはランナーズハイの状態になりやすいのかもしれない。競技力の高い選手は集中力がすごいという話をよく耳にするが、スポーツに限らず仕事や勉強も同じだろう。TOKYO2020まであとわずか。少しでも選手たちが集中できる環境創りを行っていきたい。

筑波技術大学・白澤麻弓准教授が講演 聴覚障害学生への合理的配慮方法などを紹介 第3回FD研修会



講演される白澤准教授

11月26日(月)、筑波技術大学障害者高等教育支援センター障害者支援研究部より白澤麻弓准教授をお招きし、「大学における障害学生への合理的配慮―聴覚障害を中心に―」と題して、第3回FD研修会が開催された。当日の内容は、障害者差別解消法の解説と聴覚障害学生への授業における支援等であった。

障害者差別解消法は2016年に施行され、次の2点からなる。(1)「不当な差別的取り扱いの禁止」…大学の場合は正当な理由なく障害のある学生の入学等を拒否してはならないことにある。(2)「合理的配慮の提供」…障害のある学生が、障害のない学生と対等に学ぶために、大学の負担が重すぎない範囲で対応することが求められる。

次に、「授業における支援」をするにあたり、歯科医師とな

るには聴覚障害があるから仕方ないでは済まされないで「厳しく」、誰よりも実のある努力をさせるために「手厚く」、自分自身で回答を出させるために「ともに悩む支援」というメッセージのもと、具体的な合理的配慮の方法として、コンピュータ入力通訳、手話通訳、自動音声認識、講義中の話し方の工夫、困難や危険が予想される場面とその対策等が紹介された。

本学では、本年度第1学年に入学した聴覚障害学生本人とご家族、コンピュータ入力および手話通訳者、白澤先生らと本学職員が協議を重ね、同級生らの協力のもと、各授業に応じたサポート体制を模索し作り上げつつある。今後も、講義や実習で歯科医学用語の使用が増えるな

か、最適な方法を授業ごとに適宜選択していく必要がある。

今回は職員のほか、聴覚障害学生のご家族とコンピュータ入力および手話通訳の方々が聴講した。

(第1学年学生主任 安藤 宏)

暖冬から一転、寒さが増してきた。本格的に冷え込む直前、久しぶりに近所の大きな山にマウンテンバイクで仲間と走りに行った。

秋のキノコ採りが終わり狩猟シーズンが始まるまでは山の中で人に会うことはまずない。葉が落ち風に揺れる幹を下から覗くと、上空では青空にすこい勢いで白い雲が流れていく。時折風に軋んだ木の音が森にこだまする。斜面の向きと標高に伴い落ち葉のカラーが変化している。標高が高いところに生える針葉樹のゴールド色に輝く森は幻想的でもある。少し下がってくる

と広葉樹の森になり、赤や黄色が混じって明るい。落ち葉でフカフカの山は、みんなが想像するよりもはるかに暖かく気持ちがいい世界だ。

ピリッとした冬の乾燥した空気の中、大汗をかきながら道を進む。タイヤが落ち葉を踏みしめる音と自分たちの呼吸音以外は何も聞こえない。黙々と無我夢中で何も考えずにただただ苦行の登りをこなしていた。どこかの筋肉に集中してだとか、こぎ方の効率なんてものは全く考えずペダルをこぎ続ける事だけに集中していた。



ヒマラヤ杉のイルミネーション

冬の夜を彩る 幻想的な光 イルミネーション

大学病院前のヒマラヤ杉にイルミネーションが飾られ、点灯式が11月28日(水)午後5時より行われた。集まった地域の児童15人ほどが、カウントダウンの掛け声に合わせてスイッチを押すと、幻想的なイルミネーションが夜空に煌めいた。

MTBペダリング 随想記



元J2一五輪日本代表 鈴木 雷太

3グループに分かれ熱意こもった活発な討議

第19回松本歯科大学病院指導歯科医講習会

第19回松本歯科大学病院指導歯科医講習会は、本学創立30年記念棟にて12月1日(土)・2日(日)の両日開催されました。



川村歯科病院長から受講証を受ける受講生

学内外の校友の先生方だけでなく、他大学出身の先生方も含め24人の受講者が参加されました。チーフスタッフフォースの黒岩昭弘研修管理委員長(歯科補綴学講座教授)をはじめ、長野県歯科医師会からは等原哲三先生(4期生)と本学の有志8人がスタッフフォースとして参加いたしました。

講習会は、「ワークショップとは何か」という岡藤範正教授(歯科矯正学講座)からの講演からはじまり、指導歯科医に必要な「歯科医師臨床研修の現状」「カリキュラムの立案プロセス」と「問題点の抽出方法」病院長の「医療安全・リスクマネージメント」

「感染対策」について受講していただきました。

さらに8人ずつ3つのグループに分かれて、カリキュラム立案の実践として、具体的な修得ユニットについて、協力型施設における研修歯科医や指導歯科医が毎年頻出するテーマについて「目標」「方略」「評価」をそれぞれ検討していただきました。

グループ毎の発表や総合討論会においては活発な討議が行われ、参加者の熱意を感じられる有意義な講習会となりました。最後に川村 仁歯科病院長から歯科医療の将来を担う指導歯科医となる先生方へのコメントをいただき、参加者へ厚生労働省認定の受講者証が渡され、講習会は終了しました。

本講習会は臨床研修歯科医の指導者の要件として必須なものです。来年度も開催されますので、指導歯科医修得をご希望の先生方は本学病院事務室にお問い合わせ下さい。

(臨床研修プログラム責任者 音響淳二)

臨床に役立つ情報と情熱を伝授 病院セミナー

日本顎咬合学会 上田秀朗先生、副理事長・倉富寛先生が講演

病院セミナーが11月16日(金)、

上田秀朗先生(日本顎咬合学会理事長・うへだ歯科)、倉富寛先生(日本顎咬合学会副理事長・くらとみ歯科クリニック)の両名をお招きして開催された。

最初に倉富先生が「根尖病巣を治療に導くポイント」診断を中心に」と題して、基本的な診断から超困難症例までCBCT(コーンビームCT)やマイクロスコップを駆使した方法を紹介された。動画によるマイクロスコップ直下で分岐した下顎小臼歯の髓腔を拡大する手技は唾を



講演される上田先生(右)と倉富先生

飲み込むほどであった。次いで上田先生から「実践咬合再構成を極める 歯列不正、歯周疾患、多数歯欠損を読み解く」

として、さまざまな疾患で失われた口腔機能が、上田先生の治療(歯周治療・矯正治療・インプラント治療・補綴治療)によって咬合の再構成がなされていくさまを紹介された。その考え方や手技は、われわれが患者を見ていく上で非常に参考になるものであった。

治療にあたって明確なゴールが想像できなければいけず、治療期間が延び、ひいては予知性の高い処置は行えない。それを補完するには良質な臨床報告を数多く見るのだと思う。今回のセミナーはそれに足るもので、臨床に役立つ多くの情報と臨床にかける情熱を伝授していただいた。

(歯科補綴学講座 教授 黒岩昭弘)

東京歯科大学・小野寺晶子先生が講演 「疾患特異的なiPS細胞を用いたGolfin症候群メカニズムの検討」

10月31日(水)、東京歯科大学学生化学講座講師・小野寺晶子先生をお迎えし、大学院セミナーが開催された。

小野寺先生には、「疾患特異的iPS細胞を用いたGolfin症候群メカニズムの検討」について講演いただいた。

小野寺先生は、東京歯科大学大学院歯学研究科(生化学専攻)を修了し、歯科でよく発見される遺伝病である基底細胞母斑症候群(Gorlin 症候群)について、その発症機構を解明すべく研究

を続けている若手研究者のホープである。Golfin 症候群はHedgehog (Hh) 受容体であるPTCH1を責任遺伝子とする。PTCH1はHhシグナルのブレーキであるため、Golfin 症候群ではPTCH1の変異によってHhシグナルのブレーキが効かなくなる。このため、Hh情報伝達シグナルが過剰に活性化され、多彩な病態を示す疾患である。多発性顎骨嚢胞を主症状のひとつとするため歯科診療で見つかることが多い。

講演では、患者さんの口腔領域の皮膚から線維芽細胞を採取し、この線維芽細胞から誘導性多能性幹細胞(iPS細胞)を作製したお話を始まり、次世代シーケンサーを用いた最新の解析方法について講演していただいた。Golfin 症候群は、多発性顎骨嚢胞の他に、二分肋骨や大脳鎌の石灰化、髄芽腫・基底細胞癌などが認められ、それらの細胞の種類は多岐にわたる。そのため、さまざまな細胞に分化誘導が可能なiPS細胞の作



講演に迎えた小野寺先生

より安全なキャンパスの整備を 実習館・体育館 耐震改修工事始まる

本学は、耐震対策を最大に考慮し、学舎の耐震診断・耐震対策・防災機能を強化して安全なキャンパスの整備を図るため年次計画を立案し、優先順位に従って耐震工事の促進に向け取り組んで参りましたが、昨年9月から実習館棟と体育館棟において、コンクリート打設等による耐震改修工事が始まりました。建築基準法は、1981(昭和56)年6月の改正を境として、旧耐震基準と新耐震基準に大別されました。81年5月以前の旧耐震基準は中規模地震を想定したものであり、震度5強程度の揺れでも倒壊せず、破損したとしても補修する事で継続使用が可能ということが基準でした。これに対し新耐震基準は、震度6強から7に達する大規模地震で倒壊・崩壊せずに人命に関わる甚大な被害が出ないことが義務付けられています。本学において学校設備は、普段の学校生活はもとより、災害発生時には学生の大切な命を守り、地震等による災害時には公共的建物として地域住民の一時避難施設となる重要な施設であり、より安全で信頼に足る建物でなければなりません。従って、既存の建物が、災害時(特に地震時)において機能を担う耐震性があるかどうかの耐震診断を行い、今回の工事となった次第です。施工者は、鹿島道路株式会社関東支店で、工事完成は2019年3月20日となっています。学生および職員の皆様のご理解を賜り、安全に工事を進めていく所存であります。

製は、Golfin 症候群の発症機構の全容解明にとって重要なツールとなることをお話しされた。講演後、活発な質疑応答が交わされた。小野寺先生には、多数の質問に非常に分かりやすく丁寧にご返答いただいた。臨床講座を含む多くの先生方に参加していただき、非常に有意義な大学院セミナーであった。(総合歯科学研究所 教授 小林泰造)



耐震改修工事が始まった体育館

人事異動

- 〔採用(再任)〕11月1日付
上原 俊介(講義 歯学部口腔生化学講座)
- 12月1日付
黒岩 博子(講義 歯学部歯科矯正学講座)
杉野 紀幸(講義 歯学部歯科矯正学講座)
- 12月1日付
〔採用〕
智子(重篤な臨床業務費 派遣員)
- 11月15日付
〔退職〕
大竹理一郎(診療助手 常勤職員)
- 〔昇任〕
安西 正明(歯学部口腔生化学講座)
八上 公利(歯学部口腔生化学講座)
- 12月1日付
森 啓(准教授 歯学部口腔生化学講座)

1月行事予定

- 7日(月)〜8日(火)
卒業試験(第6学年)
- 8日(火)〜10日(木)
後期定期試験Ⅱ 衛生学院第3学年
- 16日(水)〜25日(金)
定期試験(第1〜3学年)
- 22日(火)
衛生学院一般入試Ⅱ期
- 23日(水)
大学院発表会
衛生学院一般入試Ⅰ期
合格発表
- 29日(火)
創立記念日(47周年)
- 31日(木)
共用試験CBT(第4学年)
特待生選考試験(留學生)

Economic News			
内外の経済 12月20日付			
東京外国為替相場と各国定期預金金利(3ヵ月物)			
日本	20,315.74円	米ドル	113.30円 0.20%
米国	23,323.66ドル	英ポンド	142.82円 0.10%
▶金地金店頭価格(消費税込み)		スイスフラン	113.89円 0.01%
売り(1グラム)	4,898円	ユーロ	128.86円 0.01%
買い(1グラム)	4,813円	タイバツ	3.50円 0.10%
▶白金地金店頭価格(消費税込み)		日本円	— 0.01%
売り(1グラム)	3,179円		
買い(1グラム)	3,050円		

受験生の皆さんへ

一 般 入 試 (I 期)

センター利用入試 (I 期)

特待生選考試験 (I 期)

●試験日
2019年2月3日(日)・4日(月)

◎試験日は2日間のうち、希望する試験日が選択可能です。
センター利用入試は、本学個別試験はありません。

●出願期間
1月7日(月)〜1月28日(月)

●試験場
本学・東京・大阪

■お問い合わせ■
HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 入試広報室
www.mdu.ac.jp